駒中だより

こ　こころざしの高い生徒
ま　学び続ける生徒
が　我慢できる生徒
た　他を思いやる生徒

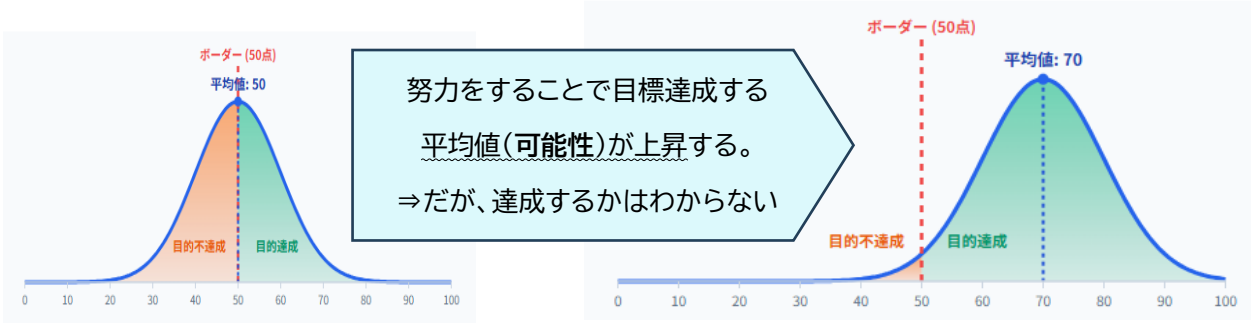
けじめ　あいさつ　思いやり　　台東区立駒形中学校　令和８年１１月２日発行

「努力は裏切らない」の本当の意味

始業式のお話から

校長　渡邊　和彦

「努力は裏切らない」という言葉は、「頑張れば必ず望む結果が得られる」と解釈されがちですが、現実にはどれほど努力しても思い通りの成果に結びつかないことも少なくありません。子どもたちはこれからもスポーツや学習、好きなことに時間を懸命に費やしていくことでしょう。一部の３年生は、部活動を引退し学習に多くの時間を割いています。果たして、子どもたちは夢や希望に向かって努力することをどのように考えているでしょうか。統計学の視点から見れば、人生は「確率的



事象」と定義されるそうです。これは、自己の選択だけでなく、生まれ持った環境や偶然の変動が複雑に絡み合って構成されることを表しています。最善を尽くしても報われない瞬間があり、頑張っているようには見えない、努力していないように見える人が良い結果を出すこともあります。しかし、正規分布のモデルが示す通り、継続的な努力は自身の平均値を向上させ、望み通りの結果を得る確率を確実に高めてくれるというのです。

この考え方は、短期的な成否に一喜一憂せず、失敗を合理的に受け入れる「数学的な諦観」と、前向きに歩み続けるための希望を同時に与えてくれます。さらに、全力を尽くして試行錯誤を重ねる過程で、私たちは物事を多角的に見つめる新しい視点を獲得できます。徹底的に挑んだ経験があるからこそ、「やるだけのことはやった」と納得して前を向く、柔軟で割り切れる考え方も身に付くということです。

努力は結果を必ずしも保証しませんが、新しい視点をもたらし、成功の可能性を大きく広げてくれます。つまり、自分を成長させ、次の選択肢や新たな道を開く確かな糧となる点において、努力が私たちを裏切ることは決してありません。

『新しい視点を手に入れ、自分自身の可能性を広げてくれること』それこそが、努力が私たちを裏切らないと言える最大の理由だと思います。これから、様々な結果に一喜一悲することがあるかもしれませんが、結果の善し悪しに左右されるだけの生活ではなく、「人間、一事が万事、塞翁が馬」という言葉があるように、結果を受け止め、前向きな考えをもつことができる人になってほしいと願っています。

※諦観･･･感情に左右されず、道理や真理を深く見通して正しく把握すること。ありのままに受け入れること。

躍動　駒中生徒のがんばり　《敬称略》

【演 劇 部】台東区芸楽祭出演　1-1
【税の標語】東京上野税務署長賞　2-1　税の陽が　夢の種まき　芽を育む
上野間税会会長賞　2-1　税金は　人を支える　世の要
上野間税会優秀賞　3-2　納税で　みんなで作る　安心感
【台東区美しい心づくり「標語コンクール」】
佳　作　2-1　ほおずきに　未来を灯し　感謝込め
【東京都中学校支部対抗陸上競技選手権大会】　女子共通 200m
第 6 位　2-1
【ソフトテニス部】　台東区秋季新人大会　女子個人
第 3 位　1-1　ペア

令和 8 年度　後期生徒会本部役員
会長：2-1　副会長：1-2
庶務：2-1　、1-2　、1-1



＜11月・12月の予定＞※追加・変更の場合もあります

１１月（霜月）	１２月（師走）
2 日(月)特別時程　安全指導　専門委員会 3 日(火)文化の日 4 日(水)特別時程　台東区教育研究会 5 日(木)研究授業 6 日(金)学びのキャンパス(2 年) 8 日(日)英語検定2次 9 日(月)特別時間割始　放課後練習① 10 日(火)生徒総会 11 日(水)第 3 回定期考査始　連携の日 13 日(金)第 3 回定期考査終　放課後練習② 16 日(月)全校朝礼 17 日(火)第3回到達度テスト(3 年) 放課後練習③ 18 日(水)職員会議 19 日(木)放課後練習④ 20 日(金)放課後練習⑤ 21 日(土)文化合唱発表会 （浅草公会堂） 22 日(日)ESAT-J　YEAR3 本試験(3 年) 23 日(月)勤労感謝の日 24 日(火)振替休業日 25 日(水)いじめ予防授業 26 日(木)保育体験(3 年) 27 日(金)保育体験(3 年)　避難訓練	2日(火)後期専門委員会 3日(水)三者面談始 4日(金)生音プロジェクト(3 年) 9日(火)三者面談終 13日(日)ESAT-J　YEAR3(3 年)予備日 14日(月)避難訓練　学校運営連絡協議会 15日(火)私立入試相談始 16日(水)特別時程　台東区教育研究会 23日(水)職員会議 24日(木)美化日 25日(金)終業式　安全指導 26日(土)冬季休業日始(～令和9年1月7日) 



あいさつは、いつでもどこでも誰とでも　大きな声で何度でも
言われる前に　自分から